



## Press Information

VPR16-068

2016年10月31日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### フォルクスワーゲン、4年連続4度目のマニファクチャラーズ・タイトルを獲得

- セバスチャン オジェ選手がラリー・グレートブリテン 4 連勝。
- フォルクスワーゲンはポロ R WRC とともにマニファクチャラーズ部門 4 連覇を達成。



2016年世界ラリー選手権(WRC)第12戦の「ウェールズ・ラリー・グレートブリテン(ラリーGB)」が、10月27日～30日にディーサイドを中心に開催されました。

前戦でドライバー部門4連覇を達成したフォルクスワーゲン・モータースポーツのセバスチャン オジェ選手は、他を寄せ付けない王者の走りでラリー・グレートブリテンでも4連勝を記録するとともに、フォルクスワーゲン・モータースポーツの2016年マニファクチャラーズ・タイトルを確定させました。ヤリ・マティ ラトバラ選手とアンドレアス ミケルセン選手は、メカニカルトラブルに見舞われ、それぞれ7位と12位でフィニッシュしました。

フォルクスワーゲン・ポロ R WRC は、これまで51戦に参戦して42勝をマーク、トップ3フィニッシュは85回を数え、WRC史上最強のマシンの名をほしいままにしています。

シーズン最終戦に定着していたラリー・グレートブリテンは、今年は日程が早まり、第12戦として開催されます。ルートは、中北部ウェールズにレイアウトされるお馴染みの手法が採られていますが、通常とは逆に走る構成となります。スペシャルステージ(SS:競技区間)には、過去一度も逆走されたことがない、あるいは1995年以来の逆走、はたまた1997年以来の使用など、新たな準備を整えてラリーに臨まなければなりません。

森林を縫うSSは、WRCドライバーにとって特に技術的には難しくありませんが、日没が迫ると夕陽が木立に見え隠れしてストロボのようになり、移り気な天候によってグラベル(非舗装路)がマッド(泥濘)と化して非常に滑りやすくなるなど、さまざまな罠が待ち受けています。材木が積み上げられた区間では、接触は是が非でも避けなければなりません。特有の難しさが待つラリー・グレートブリテンの総走行距離は1,295.94km、うちSS距離は330.21kmです。また、金曜日のデイ1だけでSS距離の半分以上を占める178.22kmを走破することになります。

デイ1は「ラリーGB」名物のウェット。その中でいきなり首位に立ったのは、1番スタートとなったオジェ選手でした。轍のない路面を快調に走行、8カ所のSSのうち5カ所でトップタイム、残り3カ所でも

トップ3タイムを叩き出し、2位以下に37秒以上の差をつけました。チームメイトのラトバラ選手とミケルセン選手は、ともにランキング2位のチャンスを残していますが、ドライブシャフトを破損し、デイ1はトップ10圏外を強いられました。

オジェ選手は、土曜日のデイ2でもチャンピオンらしい走りを見せ、ここまでの15SS中14カ所でトップ3タイムを記録、そのリードを揺るぎないものとししました。ラトバラ選手は8位、ミケルセン選手は14位にポジションを上げました。

デイ3は6SSの構成ですが、すべて短く、SS距離は50km強にすぎません。オジェ選手は、危なげなく全SSを走破し、真っ先にフィニッシュランプに到着しました。ラトバラ選手とミケルセン選手は、それぞれ7位と12位で完走しました。

2016年最終戦「ラリー・オーストラリア」は、11月17日～20日にシドニーとブリスベンの間にあるコフス・ハーバーを中心に開催されます。このイベントには、ミケルセン選手のランキング2位がかかっています。

#### [終了後のコメント]

##### ■ フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: スヴェン スミーツ

「フォルクスワーゲンにとって、素晴らしい週末です。オジェ選手は、チャンピオンにふさわしいパフォーマンスでした。次戦は、ミケルセン選手のランキング2位獲得に集中します。」

##### ■ カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果: 優勝

「マニファクチャラーズ・タイトル確定を心から嬉しく思っています。限界までプッシュしましたが、ミスをおさずに自分たちの仕事をやり遂げられました。」

##### ■ カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果: 7位

「セバスチャンのおかげでマニファクチャラーズ・タイトルが決まりました。個人的には、悔いが残るラリーでした。」

##### ■ カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果: 12位

「マニファクチャラーズ・タイトルの獲得を心から喜んでいきます。今回は嬉しい結果ではありませんが、シーズンを通じてチームに少しでも貢献できていたと思います。」

#### ■ FIA 世界ラリー選手権 第12戦ラリー・グレートブリテン最終結果

- |                                       |               |
|---------------------------------------|---------------|
| 1. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン) | 3時間 14分 30秒 2 |
| 2. オット タナク/ライゴ メールダー(Mスポーツ・フォード)      | +10秒 2        |
| 3. ティエリー ヌーヴィル/ニコラス ジルスル(ヒュンダイ)       | +1分 35秒 4     |

#### ■ FIA 世界ラリー選手権 マニファクチャラーズ選手権ランキング(第12戦終了時点)

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| 1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ    | 355 |
| 2. ヒュンダイ・モータースポーツ        | 285 |
| 3. Mスポーツ                 | 154 |
| 4. フォルクスワーゲン・モータースポーツ II | 138 |

#### ■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第12戦終了時点)

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| 1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)   | 247 |
| 2. ティエリー ヌーヴィル(ヒュンダイ)      | 143 |
| 3. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン) | 129 |
| 6. ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)  | 110 |

\* 結果はすべて暫定。